

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 本巣松陽高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年1月25日(木) 13:10~15:10
- 3 開催場所 本巣松陽高等学校 银杏館
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|------------------|
| 会長 | 川治 秀輝 | 本巣市教育長 |
| 副会長 | 長屋 由喜子 | 公益財団法人加藤記念奨学会理事 |
| 委員 | 石川 孝信 | もとす広域保護司(地域住民代表) |
| | 大草 由美 | 元PTA会長(地域住民代表) |
| | 阿葉家 卓也 | PTA会長 |
| 学校側 | 池田 哲也 | 校長 |
| | 服部 久美子 | 教頭 |
| | 竹中 淳二 | 事務長 |
| | 日比 学 | 教務部長 |
| | 山本 博 | 生徒指導部長 |
| | 川田 朋子 | 進路指導部長(欠席) |
| | 不破 真之介 | 進路指導部長代理 |
| | 小川 真由子 | 研修主事 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 今年度の取組に対する自己評価等について

(2) 来年度に向けての改善方策等について

・学習指導について

意見1: 教員は、毎日が公開授業という気持ちで生徒主体の授業を積極的に行ってもらいたい。

意見2: 公開授業の実施については、教員は受け身ではなく自主的な公開という意識をもつ必要がある。

意見3: 学校生活の中で最も多い時間は授業である。教員は、授業を通して学校の教育目標を達成していくという志をもつ必要がある。

意見4: 観点別評価の導入は大変ではあるが、授業内容の充実に重点を置いてもらいたい。

意見5: 警報時のオンライン支援授業については、生徒も教員も受信や配信に慣れていくことが大切である。

意見6: カリキュラムに、生徒が自分の興味あることを研究できる授業を導入することで、学校の特色を出すのもよい。

別紙様式 3

・制服の在り方について

意見1：詰襟、ブレザー、リボン、ネクタイなどを自由に組み合わせることができる現在の本校の制服の在り方は、学校の特色が出せる良い取組みである。(複数)

意見2：詰襟はブレザータイプに比べて経済的な面がある。

意見3：今後さらに制服のバリエーションを考えて、選択肢を増やしていくとよい。

・進路指導について

意見1：時代の変化に合わせて、生徒一人ひとりの進路の実現を応援する姿勢が大切である。

意見2：国公立大学への進学を目指す生徒を支援できる体制を期待している。

意見3：保護者としては学校の出口指導が気になる場所である。国公立大学合格者数はその指標となるし、目標を達成してもらいたい。

・地域課題探究型学習について

意見1：地域とどう連携するかを考え、将来地元への愛着がわくような取組みになるとよい。

意見2：地域ファシリテーターを招いての探究活動では、生徒が主体的に生き生きと活動できた。今後も生徒が主体的に活動できる企画を運営してほしい。

意見3：地域に根差して、地域に必要だと思ってもらえる高校であってほしい。

・その他

意見1：自転車乗車時のヘルメット着用は、部活動単位などで生徒同士声掛けがし合える仕掛けがあるとよい。

意見2：1年次から生徒自身が学校行事などに意見が言える工夫があると良い。教員も生徒も自己の理想を語れる学校をつくることで、生徒は自主的になっていくのではないかと。

意見3：生徒が後輩(中学生)に、本高は楽しい学校だと言えるような高校を作ってもらいたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、今年度を終えての成果と課題や今後の学校運営等について、どの委員からも活発に意見が得られ本校の運営方針やその改善のための具体的な手立ての示唆を得た。教員は、日々の授業改善と共に職員同士が活発な語り合いを行うことが、教育目標の達成につながることを実感した。今後も本校の魅力向上のため学校運営協議会委員の方々はもとより、学校の職員間でも情報を共有し、学校運営を積極的に行っていくことを確認した。